

---

# YUIが悪と闘ったら 14

pokemomtyan

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

YUIが悪と闘ったら14

### 【コード】

N4039T

### 【作者名】

pokemomtayan

### 【あらすじ】

YUI達島を散策する事になる。

もしもYUIが悪と闘ったら(前書き)

感想を書いてね。

## もしもYUIが悪と闘ったら

向こう岸に漂着した海賊達は、森に入って行った。YUI（訳が分からない。状況が呑み込めない。）堂本剛（確か、あの人と俺は共演していないけれど、フジテレビの廊下で通りがかった事はあるな誰やったかな？）ケイト（でも、どうしよう・・・マダガスカルまで漂着して、地中海には遠すぎるし、まあ缶さんはほつといて良いけれども変な海賊団も来るしね。）YUI（なんせ、帰る船が無い。）その時、辺りを勝手に散策していた、葉加瀬太郎が帰ってきた。葉加瀬（ヨホホホホ。ハイ！皆さんご苦労さん。食料を取ってきた。した。）堂本（助かるで。何かの木の实か？）葉加瀬（ヨホホホホ。先住民のお年寄りが道を通りかかったので、挨拶をしたら・・・な。な何と！自家製の山羊のバターをくれたんですね。うん油だらけで美味しそう。そのまま食べるのがコツですね。ヨホホホホ。）YUI（バターばかり食べれるかアホ怒！）ケイト（ん？葉加瀬さん。貴方の背広の裾に赤いものがついてるわよ。血？）葉加瀬（ヨホ・ホ・ホ。何を言ってるんでしょうか？さあ、皆さんでバターを食べてコレステロールを上げましょう！）すると、はいつくばって海岸沿いに来た先住民の老人が言った。老人（た・食べ物返してケロ・・・）老人かは何者かに斬られていた。そして、YUI達の前で息絶えた。YUI（葉加瀬さん・・・バター欲しさに、バイオリンの仕込み刀で老人を斬ったでしょう。）葉加瀬（ヨホ・ホ。何の事だか・・・陽気な私には理解不能です。ヨホホホホ・・・さあ！そんな事より食べましょうね）葉加瀬は冷や汗を垂らしながら、バターを食べ始めた。神崎昂（もう何も言いませんよ。貴方に。）葉加瀬（ヨホホホホ。後に上陸した海賊にでもやられたのでしょうか。）し・知りません。この世は弱肉強食ですし、弱いものは負けますから人生は所詮やったもん勝ちです！）一同（こんなにダークな人だったんだ・残念。）葉加瀬（あゝ美味しかったです。おや？皆さん

はバターを食べなかつたのですか？丸ごと油ギトギトで旨いのには？  
堂本（葉加瀬屋が一人で全部食うたんやる怒！）葉加瀬（ヨホホホ  
ホホ。そうでした。私つたら食いしん坊ですね。）YUI（つうか・  
・どうやったら、そんなに口の周りが汚れるんだらう。）ケイト（  
とりあえず。脱出する手段を見つけんとな。二手に分かれよう。と  
りあえず、YUI屋とケイト屋と神崎屋は海岸周辺を散策してくれ。  
俺と葉加瀬屋は森の方に行く。）神崎（情けない話。この中では私  
は戦闘員では無いので、YUIさん守ってくださいね！）YUI（  
目を輝かせて私を見ないでね。仕方ないけどさ。）一同は二手に分  
かれて散策を始めた。その頃、生贄の祭壇に連れていかれ、そのの  
祭壇で体を燃やされることが決定した菅直人とジャックスパロウは  
命乞いを始めていた。菅（へへへ村長さん。献金って意味は解りま  
すか？）村長（理解しがたい。お前等には喜ばしい事なのだぞ。こ  
の太陽が当たる祭壇の下で燃やされて、やがてその灰は空を舞い神  
のご加護の下に行けるのだ。）民（きゃっほーお前等は！幸せ者だ  
！）先住民達（ほあーほあー叫！）雄叫びとアホみたいな太鼓の音  
色が響いた。菅（なら・こうしましょう。俺様が日本に帰った後に、  
俺様が生贄に使う奴隷を派遣します。その者達は、この私（菅直人）  
に逆らう、菅降しを実行する民主党内部の奴等と前駄目与党だった、  
自民党幹部の奴等、更に前与党の創 学会の信者で構成された公明  
党の幹部共を私の口で騙して派遣させます、そいつらを煮る也焼く  
也好きにしてください笑。）村長は少し考えたがふりはらった。村  
長（黙れ長芋！そうする事によつて、反対する奴等が居なくなり、  
一党独裁政治を断行するのだらう！見え透いた言い訳や嘘は見苦し  
いぞ！）菅（いや・ぶっちゃけ、あいつ等の方が悪いんですよ。俺  
様があればもしたい！これもしたい！って言つても、何にも言うこと  
を聞かないし素直じゃないんです。俺様は被害者ですよ叫！）村長  
（震災問題に関しても、仮設住宅の全部の設置も8月ではむりじゃ  
ろう？）菅（ギク！）村長（更に、原発の問題も新工程表とか作っ  
たけれど、9ヶ月後の1月中には完全解決は無理じゃろう。）菅（

冷や汗・・・) 村長(更に国が東京電力に賠償金を渡すと言っておきながら、電気料金を値上がりさせて結局、風当りは国民に来るんじゃないろう。)(菅(俺様は・・・理系出身だから・・・自然エネルギーを設備させて・・・震災で失業した奴等に雇用の推進をしたらと考えており・・・ます・・・よ・・・)(菅は目を逸らした。村長(それは段取りはついてるのか？確実なのか？自然エネルギーの電力問題も確実性が無くても出来たとしてもソフトバンクの社長の孫正義さんに全て押し付けようとしていないか？彼は推進派のリーダーじゃからのう。)(菅(う・・・うるさいぞ！お前等はアホな民族だろう！何で俺様の国の事をぐちぐち言えるんだ叫！俺様は日本では、天皇よりも偉い日本一の男だぞ！俺様を神と呼べ！) 村長は頭を痛めた。村長(は・・・支持率が21%で、菅降しも巻き起こる永田町の内部で何が神だ聞いてあきれるわい。)(ジャック(スパロウ(なあ、さつきから黙って聞いていたけれど、村に3Dテレビもあつたし、パソコンも設置されていたけどお前等は本当に裸族か？)(菅(そうですよね船長。コイツ等おかしいですよね？)(菅は笑いながら、ジャックの髭を触ったりねじったりした。ジャック(お前は・・・泣いてるのか、怒っているのか、喜怒哀楽の激しい奴だな叫！) 民(馬鹿を言え！我等は一見遅れているように見えるが、其れは仮の姿で、村には電気も水道も学校も図書館もあるし、トイレもウォッシュレット、ネットも全家庭にある。更にテレビも通しているし、国際問題も我らの頭には入っているぞ！) 先住民達(きゃっーほーほー！そうだぞ！) 菅(だったら、何で狩りをしたり、そんな葉っぱの服装なんだ？) 村長(此れはワシらの趣味じゃ叫！) 菅&ジャック(お前等なめてるだろう！) 村長(火を付ける！) 菅(ひゅ終わつたよ死ぬ)。)(ジャック(待てお前等！) 先住民は止まった。ジャック(じゃあ、こう言うのはどうだ？人の体を燃やす時は、もつと火力を強めないといけない。もつと薪を持って来いよ派手にやろうぜ！) 先住民(確かにそうだな。薪を集める！) 先住民達は何処かに行った。ジャック(よし、縄もほどいたし逃げるぞ！) 菅(えっ！奴らを逃

がしたのか？）ジャック（お前はアホか？状況を呑み込め！だから、支持率が下がるんだろ！）菅（とりあえず、逃げようぜ！）両者は逃げた。YUI達はその頃、島の反対側の林にある神殿の前に居た。YUI（何なの此れは？） 続

もしもYUIが悪と闘ったら(後書き)

感想を書いてね。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4039t/>

---

YUIが悪と闘ったら14

2011年5月20日11時12分発行